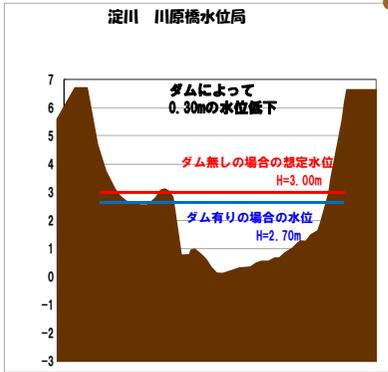
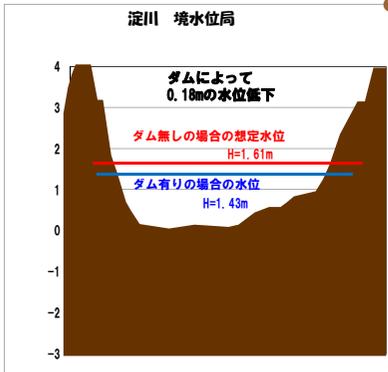
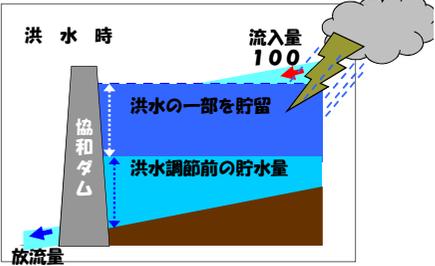


# 協和ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

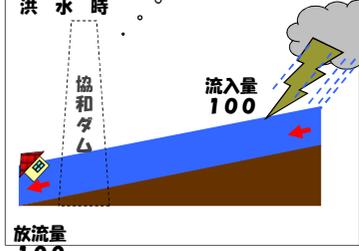


## 協和ダムの洪水調節のしくみ (イメージ)



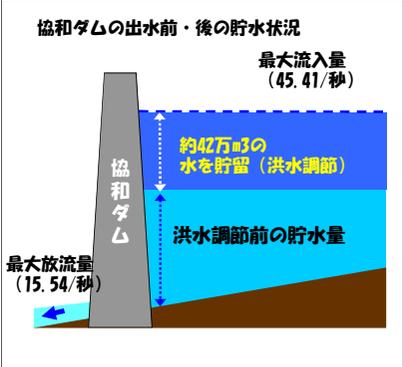
洪水時には、空容量を使って100流れてくる水をダムで90を貯めて、下流に10だけ流します。

## でも・・・ダムがないと



流れてくる100の水はそのまま下流に流れていきます。

協和ダムでは、390m<sup>3</sup>/秒の流入量に対して39m<sup>3</sup>/秒の放流を実施し、下流に流す水量は1/10になるため、下流域の洪水被害の軽減に努めています。



協和ダムでは、8月8日～9日の前線（低気圧）のため洪水調節を行いました。約42万m<sup>3</sup>の水をダムへ貯留し、ダム下流の淀川に流れる水量を少なくして、洪水被害の軽減に努めました。

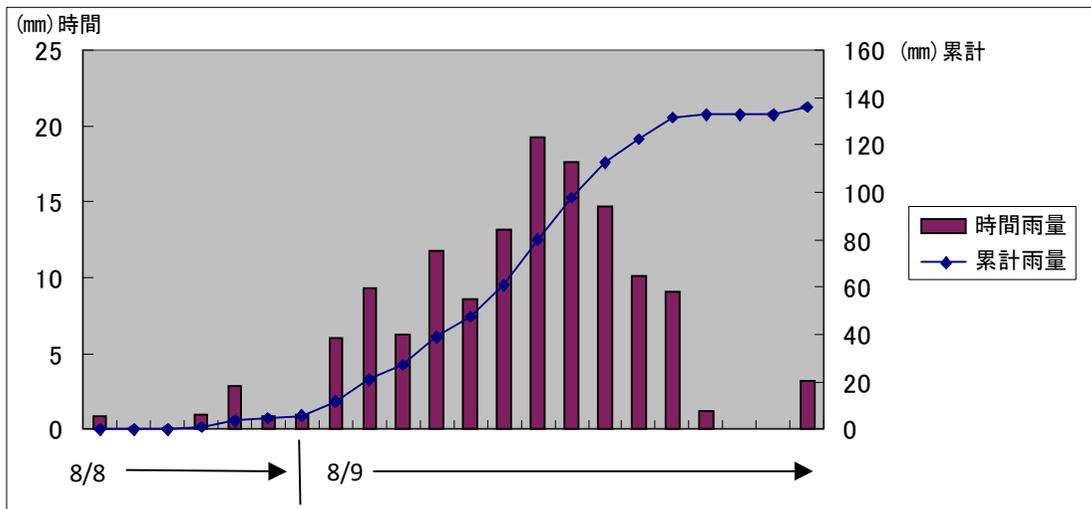
# 協和ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報：別紙）

## 概況

協和ダムでは、8月8日～9日の前線（低気圧）のため洪水調節を行いました。  
 降雨の状況は、最大時間雨量17.0mm、累計雨量115mmとなり、協和ダムにおける最大流入量は45.41m<sup>3</sup>/sまで上昇しました。  
 洪水調節の結果、洪水調節容量として、約42万m<sup>3</sup>の水をダムへ貯留し、淀川の水位を下げることができました。

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

## 降雨の状況

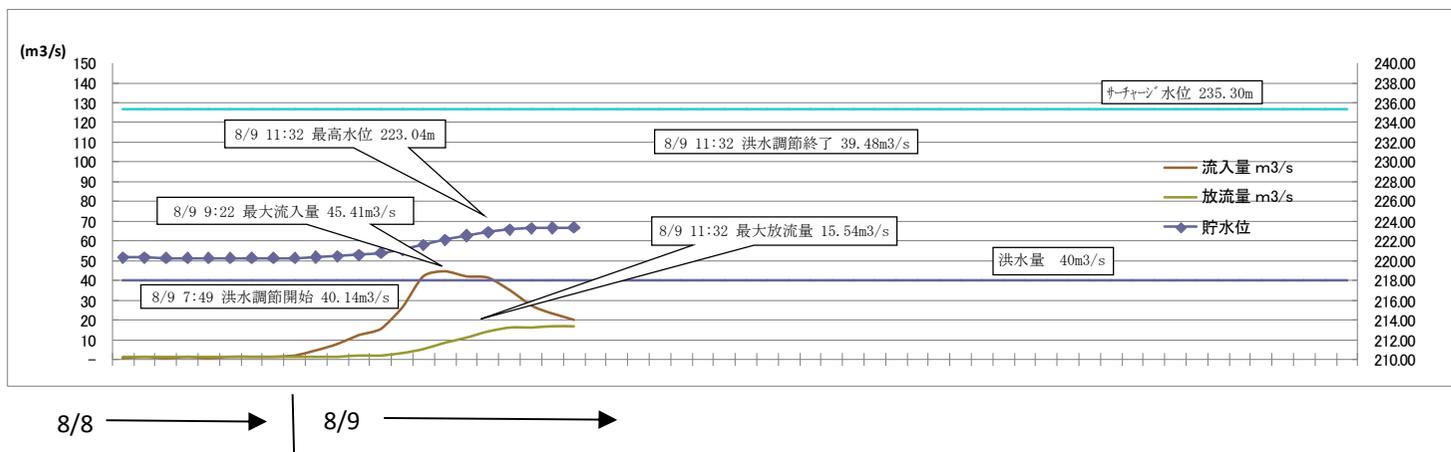


## 8月9日 7時00分 雨雲レーダー



出典: tenki.jp

## 洪水調節状況



## 協和ダム諸元

河川名	雄物川水系 淀川
形式	重力式コンクリートダム
堤頂標高	239.30m
堤高	49.30m
堤頂長	222.50m
堤幅	5.00m
堤体積	168,900m <sup>3</sup>
流域面積	24.4km <sup>2</sup>
湛水面積	0.49km <sup>2</sup>
貯水池総容量	7,800千m <sup>3</sup>
有効貯水量	7,050千m <sup>3</sup>
洪水調節容量	5,500千m <sup>3</sup>
計画洪水流量	390m <sup>3</sup> /sec
計画放流量	39m <sup>3</sup> /sec
調節流量	351m <sup>3</sup> /sec
常時発電力	270kw
最大発電力	270kw
最大使用水量	1.5m <sup>3</sup> /sec
竣工年度	平成10年